

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>研究</p> <p>昨年度から本年度始めにかけて、時価総額が上位の企業について、掲示板に投稿されたテキストデータを定期的に収集した。本年度は、そのデータを分析してみることにした。具体的には、企業の掲示板の投稿内容には、その時の投稿者のセンチメント（ポジティブ、ネガティブ）が反映されると考えられるので、その企業についてグッドニュースが察知されたならば、ポジティブな投稿が増え、バッドニュースが察知されたならば、ネガティブな投稿が増えるのではないかと考えた。データ分析の結果、上述のような傾向は認められなかった。どちらかという反対に、グッドニュースが察知されたならば、ネガティブな投稿が増え、バッドニュースが察知されたならば、ポジティブな投稿が増えるのではないかと疑われるような結果となった。当初想定していたものとは違っていたが、分析結果を研究ノートとしてまとめた。その研究ノートは、「企業の掲示板の投稿と会計情報」というタイトルで『高崎経済大学論集』 第 65 巻 第 4 号に掲載される予定である。</p> <p>教育</p> <p>簿記論については、初回の授業が動画の授業になったので、内容についても対面授業の場合と若干変えてわかりやすくなるよう検討した。また本年度は簿記検定の出題範囲は大きく変わることはなかったが、ここ数年の出題範囲の見直しで、出題範囲外になったものについての取り扱いについて検討した。</p> <p>管理会計論についても、初回の授業が動画の授業になったので、内容についても対面授業の場合と若干変えてわかりやすくなるよう検討した。</p> <p>また、ゼミの 4 年生が提出したゼミ論文に目を通した。</p>	
2 その他の事項	
<p>日本会計研究学会全国大会（Web 開催）に参加した。</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>研究面では、今回分析した掲示板のテキストデータについては、同じ投稿者が同じような内容を何回も投稿している場合もあり、別のデータあるいはやり方も検討する必要があるかもしれないと考えている。</p> <p>教育面では引き続き、簿記検定とどの程度合わせるのがよいのか検討したいと考えている。</p>	